

報道関係者各位

令和 7 年 7 月 30 日

一般社団法人 中部地域づくり協会

夏休みの自由研究に

昭和 100 年 ✕ 水防災 パネル展

災害は忘れた頃にやってくる
～ 過去に学び、未来に向けて今、備える ～

近年、水害は激甚化しています。中部地方では 25 年前の東海豪雨以来、大規模な水害は発生していません。しかし、過去を振り返ると、昭和 34 年の伊勢湾台風や昭和 51 年の 9.12 豪雨（安八豪雨）、昭和 58 年の 9.28 豪雨（美濃加茂水害）など、昭和の時代には幾度となく大規模な水害が発生しています。治水整備は進んだものの、いつまた同様な水害に見舞われるか解りません。

今年は昭和 100 年を迎えます。この機会に「昭和」に中部地方を襲った水害を振り返り、過去の水害から学び、水害に備える機会とします。このパネル展が、『迫りくる災害への備え』の一助になれば幸いです。

また、夏休みの自由研究で、このパネル展を参考に「防災」をテーマにしてみませんか。

展示期間 : 令和 7 年 8 月 6 日（水）～ 8 月 26 日（火）

【火～金曜日】 10:00～18:00 ※最終日（8 月 26 日）は 15 時まで

【土・日・祝日・振替休日】 10:00～17:00

【休館日】 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

展示場所 : 名古屋都市センター

名古屋市中区金山町 1 丁目 1 番 1 号 金山南ビル 11 階

協力 : 公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

パネル展示内容 : (1) 昭和の水害 ※【】は主な被災県

- ① 台風 13 号（昭和 28 年 9 月）【愛知県】
- ② 台風 7 号（昭和 34 年 8 月）【岐阜県】
- ③ 伊勢湾台風（昭和 34 年 9 月）【岐阜県・愛知県・三重県】
- ④ 台風 11・12 号（昭和 35 年 8 月）【岐阜県】
- ⑤ 三六災害（昭和 36 年 6 月）【岐阜県・長野県】
- ⑥ 寒冷前線による大雨（飛騨川バス転落：昭和 43 年 8 月）【岐阜県】
- ⑦ 昭和 47 年 7 月豪雨【岐阜県・愛知県】
- ⑧ 9.12 豪雨（安八豪雨：昭和 51 年 9 月）【岐阜県・愛知県・三重県】
- ⑨ 9.28 豪雨（美濃加茂水害：昭和 58 年 9 月）【岐阜県】

(2) 防災啓発冊子（近年の豪雨災害記録集）の配布

（問合せ先）

一般社団法人 中部地域づくり協会

地域づくり技術研究所 所長 犬飼 一博 TEL: 052-871-9380

【 パネルの一例 】

昭和100年

中部地方を襲った **昭和の豪雨災害**

- ◆ 昭和28年 台風13号
- ◆ 昭和34年 台風7号
- ◆ 昭和34年 伊勢湾台風
- ◆ 昭和35年 台風11号・12号
- ◆ 昭和36年 三六災害
- ◆ 昭和43年 寒冷前線による大雨
- ◆ 昭和47年 7月豪雨
- ◆ 昭和51年 9.12豪雨
- ◆ 昭和58年 9.28豪雨

一般社団法人 中部地域づくり協会

中津地方を襲った昭和の豪雨災害 ③

伊勢湾台風



昭和34年

1959年 9月26日

明治以来最大と呼ばれた台風で、死者・行方不明者が全国で5,000人を超える大災害となりました。

名古屋港では観測史上最大となる潮位を記録するなど、猛烈な高潮が伊勢湾沿岸の防波堤や海岸堤防を襲い、次々と破壊していききました。これ以降、高潮堤防の高さは原則7.5mとするなど、伊勢湾台風の潮位や波高を踏まえて高さや構造が決められるようになりました。また、伊勢湾台風を契機として「災害対策基本法」が制定されるなど、日本防災史上非常に重要な台風となっています。



名古屋港では観測史上最大となる潮位を記録するなど、猛烈な高潮が伊勢湾沿岸の防波堤や海岸堤防を襲い、次々と破壊していききました。これ以降、高潮堤防の高さは原則7.5mとするなど、伊勢湾台風の潮位や波高を踏まえて高さや構造が決められるようになりました。また、伊勢湾台風を契機として「災害対策基本法」が制定されるなど、日本防災史上非常に重要な台風となっています。



名古屋港の被害状況（名古屋港）

名古屋港の被害状況（名古屋港）

中津川下流域の被害状況（熊鷹川上流、熊鷹川河口付近の河川上流部を撮影）

中津川下流域の被害状況（熊鷹川上流、熊鷹川河口付近の河川上流部を撮影）

中津川下流域の被害状況（熊鷹川上流、熊鷹川河口付近の河川上流部を撮影）

一般被害状況

一般被害状況

一般被害状況

種別	死者	行方不明者	負傷者	建物全壊	建物半壊	床上浸水	床上浸水
岐阜県	86	18	1,708	4,022	12,337	2,400	8,875
静岡県	3,168	92	59,045	25,828	97,049	53,560	62,831
千葉県	1,233	48	5,688	6,745	16,704	30,852	31,803

◆社会の出来事、生活、社会資本整備の宣渡 <昭和33年・昭和34年>

昭和33年

- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）

昭和34年

- ・ポート国造
- ・ポート国造
- ・ポート国造

昭和33年

- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）

昭和34年

- ・ポート国造
- ・ポート国造
- ・ポート国造

昭和33年

- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）
- ・東京タワー完成（一千万円高）

昭和34年

- ・ポート国造
- ・ポート国造
- ・ポート国造

中部地方で起きた昭和の豪雨災害⑦

7月豪雨

昭和47年



1972年 7月9日～13日

愛知県西三河地方や岐阜県東濃地方を中心に記録的な豪雨、多くの人命が奪われる土砂災害や河川の氾濫を引き起こしました。

愛知県の濃尾平野観測所では、14日朝までの総降水量が458mmに達する猛雨が豪雨となり、田原市や田原町では歴史に残る大災害に見舞われました。岐阜県では中部地域と東濃地方が集中豪雨に見舞われ、東濃地方では各地で土砂崩れが誘発され、多数の死者を出す深刻な事態が引き起こされました。



決壊した荒川



被害を受けた荒川沿いの家屋

岐阜県沢村町（岐阜県） 田原市（愛知県）



大矢川に流れた砂子・礫の土砂崩れ（田原市）

撮影：（愛知県）岐阜県田原市消防局（昭和47年7月10日）

●一般観測状況

観測所	名称	観測期間	最大値	全量	平均	一日最大値	最大瞬間風速	最大瞬間雨量	最大瞬間風速	最大瞬間雨量
昭和所	64	4	112	271	287	794	2,075	12,077		
昭和所	23	2	67	49	37	11	438	1,948		
合計	87	6	179	320	324	805	2,513	14,025		

気象庁 気象庁気象研究所 気象庁気象研究所 気象庁気象研究所 気象庁気象研究所 気象庁気象研究所
 昭和所 昭和所 昭和所 昭和所 昭和所 昭和所

◆社会の出来事、生活、社会資本整備の変遷 <昭和47年～昭和50年>

昭和47年	昭和48年	昭和49年	昭和50年
 ・札幌市でシンクタンク事業と大規模な公共施設整備  ・札幌市、札幌市に合併 ・札幌市、札幌市に合併 ・札幌市、札幌市に合併	 ・札幌市、札幌市に合併  ・札幌市、札幌市に合併 ・札幌市、札幌市に合併 ・札幌市、札幌市に合併	 ・田原市でシンクタンク事業と大規模な公共施設整備  ・田原市、田原市に合併 ・田原市、田原市に合併 ・田原市、田原市に合併	 ・田原市、田原市に合併  ・田原市、田原市に合併 ・田原市、田原市に合併 ・田原市、田原市に合併

（注）本誌に掲載の情報は、取材時点の状況に基づき、一部変更・訂正が行われる場合があります。

一般社団法人 中部地域づくり協会

[illegible]



×
水防災

昭和100年 × 水防災 パネル展

災害は忘れた頃にやってくる
～過去に学び、未来に向けて今、備える～

期 間

令和7年8月6日(水)～8月26日(火)

【火～金曜日】10:00～18:00 ※最終日(8月26日)は15時まで

【土・日・祝日・振替休日】10:00～17:00

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)

場 所

名古屋都市センター

名古屋市中区金山町1丁目1番1号 金山南ビル11階

協 力

公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

夏休みの自由研究に

